

第34回人流データ利活用研究会 議事概要

1. 日時 2024年7月24日(水) 15:00~17:00
2. 場所 総務省第二庁舎408室
3. 議事内容
 - (1) 2つの人流データ間での宿泊者推計の比較
 - ・ 今年度は、従来の携帯アプリ由来のGPSデータに代え、基地局データをメインにして各種推計を行う予定。両データによる宿泊者推計の精度（実際の統計値との乖離）を過去推計の累積結果から比較した
 - ・ 基地局データによる推計精度は、GPSデータの精度を全体的に下回るものではなかった。推計のメインデータを移行することに大きな支障はないものとする
 - ・ 両データから作成する指標値（≒該当メッシュの午前4時台人口）や統計の値との間には多くの県で高い相関がある。ただし、人数の水準は3者間で大きな乖離があり、その要因の解明は引き続きの課題とする
 - (2) 人流メッシュデータを用いたバス輸送効率性評価方式
 - ・ 市営バスのほとんどの路線の評価値を計算することが出来た
 - ・ 一日当たり乗車人員に関しては、シミュレーションが可能であることが分かった
 - (3) 国勢調査とモバイル空間統計から算出される夜間人口の比較分析
 - ・ 算出した夜間人口、国勢調査人口の可視化、差の検定を用いた定量的比較を行った
 - ・ 繁華街や歓楽街、駅や幹線道路を含まないメッシュでも差が大きくなる地域を確認できた
 - (4) 市消防施設に関する分析
 - ・ MESHSTATS上に居住/流動人口、住所地形データを組み込み、消防施設受持区域の昼間人口と居住人口比較を可視化するアプリを作成した
 - ・ 市内消防署のうち、上位3つの区分区域では、平日昼間人口が居住人口よりも多い結果となった
 - (5) 人流データの特性分析
 - ・ 男女別・年齢別の非居住者の時間帯推移は、属性・地域の特徴を表している
 - ・ 非居住者の比率は周辺市区町村以外からの外出率を表しており、社会活動の活性度合いも示していると考えられる
 - ・ 資料5-2と5-3は概要のみ説明した
 - (6) その他
 - ・ 次回の研究会は9/25(水) 15:00~17:00と設定した

以上